

木くぼり

樹木の不思議 49

No. 84 発行 '10-2月、3月合併号

株式会社 ナガイ内

住まい教室 金谷教室

花粉の競争

コナラの雌花



アカマンソの雌花



アカマンソの雌花



受験シーズン真っ只中の季節です。受験生が身近にいらっしゃる方は「サクラサク」と祈るばかりですね。

競争は人間だけの専売特許ではありません。さまざまな生物は一生のうちに多くの競争を経験します。それに打ち勝ち、あるいは敗れてその存在や、またそのあるべき位置がおのずと決まってくるのは、命あるものすべての宿命といってもいいでしょう。一粒の種子ができるまでの間にも、いくつかの競争があります。

雌しべに付着した花粉は花粉管を発芽させて胚珠内に侵入し、卵と受精します。多くの植物では、一つの雌しべに受粉する花粉の数は、その雌しべ奥にある卵の数より多いので、受精できるのは花粉管をより早く伸ばし、より早くゴールに到達した花粉だけです。受粉から受精までの間に起こる花粉同士の競争は文字どおり花粉競争と呼ばれ、遺伝的に質の高い次代をつくる役割の一つを果たすと考えられています。

針葉樹では、これまでに花粉競争を積極的に支持する観察例はなく、トガサワラ属のダグラスファーでは花粉競争はないとされていますが、これらの針葉樹でも複数個体の花粉を同時に受粉すると何らかの遺伝的な選択が働き、できた種子の花粉親はランダムでない事例がよく見られます。花粉競争以外にも受精以降の競争も考えられます。マツのような針葉樹の多くは一つの胚珠の中に複数の造卵器と呼ばれる器官があり、それぞれに受精卵が宿されますが、種子になれるのは結局そのうちのただ一つだけです。競争の場は「このようなところにもしっかり準備されているわけです。

こうして、これらの厳しい競争を勝ち抜いた花粉だけが晴れて父親の栄に浴びることができるのです。人間よりよほど大変かもしれません。

参考資料：森の木の100不思議・インターネット他

新築現場情報

構造見学会 ありがとうございました。



1/16、17日は、2日間ともお天気に恵まれ、見学会日和となりました。お越し頂いたみなさま方、誠にありがとうございました。社員一同心より御礼申し上げます。Y様邸は、4月完成の予定です。これからも心を込めてお手伝いさせていただきます。【完成見学会】は、4月17(土)、18日(日)の予定です。



「柱が太くて、材料も国産で申し分ない。」

「間取りが良い、住み心地が良いと思う。」

「自分たちの家の造りとの違いがわかりました。」

「ぬくもりを感じた」

「自然のものを使っているのも身体には良いだろうな...と思いました。」



見学頂いたお客様に感想をいただきました。ありがとうございました。

訃報



先月号でホームスタディグループの富田辰雄会主の病氣療養中の報告を致しましたが、このたび、ご療養のかいもなく1月15日朝ご逝去なされました。弊社の今日があるのもひとえに故人のおかげと、今更ながら感謝の念を禁じ得ず誠に残念でございます。生前のご尽力に対し深い感謝の心を捧げます。謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

2月28日(日)午後1時30分より 東京プリンスホテルにて、お別れの会・偲ぶ会を行います。

(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

<http://www.e-house.co.jp/nagai/>

メール kk-nagai@po2.across.or.jp